

俳句教材「言葉って面白い・季語」

国語 小・中・高

俳句の季語や時候の挨拶などで使われる言葉の中には、意外な言葉がたくさんあります。例えば、十一月頃の暖かで穏やかな日のことを、まるで春のような日だと「小春日和」と言い表されています。

言葉の意味を知ると言い得て妙で、なるほどと納得してしまいます。しかし、秋なのに春という言葉を使う意外性が面白いところです。そのような言葉を子どもたちに出会わせることは、児童生徒の語彙を広げ、自然を見つめる視野を広げることにつながるのではないのでしょうか。

そのような言葉に出会わせる事例を2つ紹介します。

まず、「この写真の季節はいつでしょう？」



生き生きとした竹林の写真で、春だと思ってしまいますが、答えは、「秋」です。

多くの植物の芽生えは春ですが、竹は、春には竹の子に養分をとられ、しきりに葉を落とします。

竹の子が育ち、親竹と共に生き生きとして緑が濃くなるのは、秋なのです。その様子を表す言葉が「**竹の春**」です。

「次の写真の季節はいつでしょう？」



[高画質壁紙写真集無料壁紙](http://k-kabegami.com/)

黄金色に色づいた麦畑の写真で、答えは、「夏」です。

麦が色づき、収穫を迎えた秋の田と見間違ふかのような様子ですが、秋に蒔かれた麦が実るのは梅雨入り前の6月です。教育研究所の周りには麦畑が広がっていて、ちょうどそのころの写真です。

多くの穀物が実る秋のようであるので、その様子を「**麦の秋**」と表されています。

どうでしょう。自然を見る日本人の感覚にユニークさ、豊かさを感じませんか。季節の話をするとき、あるいは、俳句の授業の導入などはいかがでしょうか。

季語



季語とは・・・

● 季語の基本になっている動植物です。
季節はいつでしょうか。

鶯	千鳥
鈴虫	蝉
山茶花	木の実
菜の花	向日葵

● 次は、季語になっている植物の写真です。
季節はいつでしょうか。



<http://k-kabegami.com> 高画質壁紙写真集無料壁紙より

創作 マイ季語
自分オリジナルの季語を考えてみよう！

春	秋
夏	冬